

---

平成 21 (2009) 年度

---

---

# 事業報告書

---

平成 21 (2009) 年 4 月 1 日から平成 22 (2010) 年 3 月 31 日まで



---

学校法人 東北学院

---

# 目 次

理事長挨拶 .....	01
-------------	----

## I 法人の概要

1 東北学院の「建学の精神」 .....	02
2 設置する学校・学部・学科等 .....	02
3 沿革 .....	03
4 役員等の一覧 .....	05
5 教職員の概要 .....	05
6 設置学校・教育研究組織 .....	06
7 事務組織 .....	07
8 入学定員、学生・生徒・園児数 .....	08
9 志願者数、合格者数 .....	09
10 所在地一覧 .....	10

## II 事業の概要

### A 東北学院大学

1 教育活動 .....	11
2 研究活動 .....	20
3 補助事業 .....	22
4 学生生活支援活動 .....	24
5 学生募集 .....	26
6 施設・環境整備 .....	27
7 地域への貢献 .....	28
8 組織の管理・運営 .....	29
9 国際交流 .....	30
10 その他 .....	31

B 東北学院中学校・高等学校 .....	32
----------------------	----

C 東北学院榴ヶ岡高等学校 .....	33
---------------------	----

D 東北学院幼稚園 .....	34
-----------------	----

E 学校法人東北学院 .....	35
------------------	----

## III 財務の概要

A 平成 21 年度決算概要（財務諸表別） .....	38
B 財務状況の推移（平成 17 年度から平成 21 年度まで） .....	47
C 過去 5 年間の推移 .....	48
D その他 .....	53

# 理事長挨拶



学校法人東北学院  
理事長 平河内 健治

平成 21（2009）年度の学校法人東北学院の『事業報告書』を発刊するにあたり、東北学院の教育研究事業遂行に尽力された同僚諸兄姉とこれに様々な形で援助を惜しまなかったステークホルダーの方々に心より感謝を申し上げます。LIFE、LIGHT、LOVE の 3L 精神をモットーとする教育研究のみならず、同じ精神に基づく業務運営と経営も概ね順調に遂行できたものと自負しております。

しかし、日本社会全体と私立学校を取り囲む社会政治経済の情勢は企業の倒産と失業率増加や「ひきこもり」と自殺の増加などに象徴される「閉塞感」に包まれており、「大学は出たけれど」の再来と思われる就職難の時代にあり、学生生徒の学習意欲を削ぎがちであります。民主党への政権交代での「コンクリートから人へ」の政策転換はあっても、政治不信は続き、希望の見出し難い状況になっております。新自由主義の自己責任論や自由競争による進歩の信念の弊害部分がグローバルに関与しているように思われます。自由市場主義と福祉国家主義の統合という「第三の道」が模索される所以であります。

このような中で業務を遂行せざるを得ない私たちには、教育職や事務職と言った職種の差異を超えて、高度な技術や専門性が要求されてきます。そして、これまで職務分掌化されていないものを誰が担当するか詳細を定めていけばいくほど、業務は蛸壺化される危険

性や業務の煩雑さと効率の悪さ、それに伴う多忙化に向かう状況に追い込まれてしまいます。荘子の「渾沌」の物語が示唆するように、肉体に穴を開けて分節すればするほど、有機体は生を失ってしまいます。人間の組織もこれにあてはまります。

端的に言って、「これはあなたの仕事」と「これは私の仕事」との間に「これはあなたの仕事ではなく、私の仕事でもない」という「誰の仕事でもない」仕事が増えつつあります。これを祝福と見るか、呪いと見るかによって、吉と凶に分かれます。吉と見て、これに取り組めれば、仕事へのモチベーションや生きがいが増します。凶と見れば、「閉塞感」は持続されます。有機的なつながりを持つ全体的に機能する組織にするには、これを吉と見て、誰の仕事でもないものを、お互いに協力してやるという良識に立ち戻ることが今求められているように思われます。

「あなたがたは世の光（LIGHT）である」、「あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい」、「人々があなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである」（マタイ 5 章 14～16 節）のイエスの教えを肝に銘じ、神より与えられた命（LIFE）を尊び、無償の愛（LOVE）をもって、教育研究と業務運営、そして、経営に、その足場を共有しながら、参加できれば幸甚であります。

# I. 法人の概要

## 1. 東北学院の「建学の精神」

東北学院の三校祖、押川方義、W・E・ホーイ、D・B・シュネーダーは、東北学院の建学の精神を、宗教改革の「福音主義キリスト教」の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育にあるとした。その教育は、聖書の示す神に対する畏敬の念とイエス・キリストにならう隣人への愛の精神を培い、文化の発展と福祉に貢献する人材の育成を目指すものである。

## 2. 設置する学校・学部・学科等

(平成 22 年 3 月 31 日 現在)

設置する学校	開校年月	学部・学科等	摘要
東北学院大学	昭和 24 年 4 月	大学院 文学研究科 経済学研究科 経営学研究科 法学研究科 工学研究科 人間情報学研究科 法務研究科 文学部 英文学科 キリスト教学科 史学科 歴史学科 経済学部 経済学科 経営学科 共生社会経済学科 経営学部 経営学科 法学部 法律学科 工学部 機械創成工学科 電気情報工学科 物理情報工学科 環境土木工学科 機械知能工学科 電子工学科 環境建設工学科 教養学部 教養学科 人間科学科 言語文化学科 情報科学科 地域構想学科	
東北学院高等学校	昭和 23 年 4 月	全日制課程 普通科	
東北学院榴ヶ岡高等学校	昭和 47 年 4 月	全日制課程 普通科	
東北学院中学校	昭和 22 年 4 月		
東北学院幼稚園	昭和 37 年 4 月		

### 3. 沿革

明治 19 (1886) 年 6 月	仙台神学校開校
明治 24 (1891) 年 9 月	東北学院と改称 予科、本科、神学部を設置
明治 28 (1895) 年	普通科、文科専修部、理科専修部に改組
明治 37 (1904) 年 3 月	普通科、専門科 (文学部、神学部) に改組
明治 38 (1905) 年 6 月	専門科を専門部 (文科、神学科) に改称
明治 41 (1908) 年 5 月	社団法人東北学院を設定
大正 4 (1915) 年	普通科を中学部と改称
大正 7 (1918) 年	専門部を神学科 1 科、同 2 科、文科、師範科、商科の 5 科に改組
大正 14 (1925) 年 8 月	神学部 (1 科、2 科)、専門部 (文科、師範科、商科) の 2 部 5 科に改組
昭和 4 (1929) 年 8 月	社団法人東北学院を財団法人東北学院に改組
9 月	専門部を高等学部と改称
昭和 11 (1936) 年 3 月	文科、師範科を文科第一部、同第二部と改称
昭和 12 (1937) 年 3 月	神学部を東京日本神学校に合併
昭和 18 (1943) 年 4 月	高等学部商科を高等商業部、中学部を東北学院中学校と改称
昭和 19 (1944) 年 4 月	航空工業専門学校設置
昭和 20 (1945) 年 12 月	航空工業専門学校を工業専門学校と改称
昭和 22 (1947) 年 4 月	新制東北学院中学校設置 工業専門学校廃止
昭和 23 (1948) 年 4 月	新制東北学院高等学校並びに同第二部 (定時制課程) 設置
昭和 24 (1949) 年 4 月	学制改革に伴い東北学院大学文経学部英文学科、同経済学科設置
昭和 25 (1950) 年 4 月	東北学院短期大学部 (2 年制) 併置。英文科、経済科を置く
昭和 26 (1951) 年 3 月	財団法人東北学院を学校法人東北学院に改組
昭和 27 (1952) 年 4 月	短期大学部に法科増設
昭和 34 (1959) 年 4 月	東北学院短期大学部の入学募集停止。東北学院大学文経学部第二部設置 東北学院高等学校榴ヶ岡校舎設置
昭和 35 (1960) 年 3 月	東北学院短期大学部廃止
昭和 37 (1962) 年 4 月	東北学院大学工学部設置 (機械工学科、電気工学科、応用物理学科) 東北学院幼稚園設置
昭和 39 (1964) 年 4 月	東北学院大学文経学部一部、同二部を文学部一部、同二部並びに経済学部一部、 同二部に改組 東北学院大学大学院設置 (文学研究科修士課程英語英文学専攻)
昭和 40 (1965) 年 4 月	東北学院大学法学部設置 東北学院大学大学院に経済学研究科修士課程設置 (経済学専攻)
昭和 41 (1966) 年 4 月	東北学院大学大学院に文学研究科博士課程設置 (英語英文学専攻) 東北学院大学大学院に工学研究科修士課程設置 (応用物理学専攻)
昭和 42 (1967) 年 4 月	東北学院大学工学部土木工学科増設
昭和 43 (1968) 年 4 月	東北学院大学大学院に経済学研究科博士課程 (経済学専攻)、工学研究科博士 課程 (応用物理学専攻) 設置
昭和 46 (1971) 年 4 月	東北学院大学大学院工学研究科修士課程に機械工学専攻、電気工学専攻増設
昭和 47 (1972) 年 4 月	東北学院榴ヶ岡高等学校設置
昭和 49 (1974) 年 4 月	東北学院大学大学院工学研究科博士課程に機械工学専攻、電気工学専攻増設
昭和 50 (1975) 年 4 月	東北学院大学大学院に法学研究科修士課程設置 (法律学専攻)
昭和 54 (1979) 年 4 月	東北学院大学大学院に法学研究科博士課程設置 (法律学専攻)
昭和 62 (1987) 年 3 月	東北学院高等学校第二部 (定時制課程) 廃止

- 平成元(1989)年4月 東北学院大学教養学部設置(教養学科—人間科学・言語科学・情報科学専攻)
- 平成2(1990)年4月 東北学院大学大学院に工学研究科土木工学専攻(修士課程)設置
- 平成4(1992)年4月 東北学院大学大学院に工学研究科土木工学専攻(博士課程)設置
- 平成6(1994)年4月 東北学院大学大学院に人間情報学研究科人間情報学専攻(修士課程)設置
- 平成7(1995)年4月 東北学院榴ヶ岡高等学校を男女共学制に移行
- 平成8(1996)年4月 東北学院大学大学院に人間情報学研究科人間情報学専攻博士課程(後期)設置  
東北学院高等学校収容定員に係る学則変更認可(入学定員300名→360名)  
東北学院榴ヶ岡高等学校収容定員に係る学則変更認可(入学定員180名→270名)
- 平成9(1997)年4月 東北学院大学大学院に文学研究科アジア文化史専攻(修士課程)・ヨーロッパ文化史専攻(修士課程)設置
- 平成11(1999)年4月 東北学院大学大学院に文学研究科アジア文化史専攻博士課程(後期)ヨーロッパ文化史専攻博士課程(後期)設置  
東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更認可(編入学定員設置)
- 平成12(2000)年4月 東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更認可(文学部一部英文学科昼間主コース・夜間主コース、経済学部一部経済学科  
昼間主コース・夜間主コース、同商学科昼間主コース・夜間主コース増設、文学部二部英文学科・経済学部二部経済学科学生募集停止)  
〔但し文学部一部英文学科夜間主コース、経済学部一部経済学科夜間主コース及び商学科夜間主コースの編入学定員(3年次)の受入れは平成14年4月1日。〕  
東北学院大学の期間を付した入学定員の設定に係る学則変更認可(経済学部一部経済学科昼間主コース、同商学科昼間主コース、法学部法律学科)東北学院大学文学部一部を文学部に、経済学部一部を経済学部名称変更
- 平成13(2001)年4月 東北学院大学の学部の学科名称変更(基督教学科をキリスト教学科に、商学科を経営学科に、教養学科言語科学専攻を教養学科言語文化専攻に変更)
- 平成14(2002)年4月 東北学院大学大学院に経済学研究科経営学専攻(修士課程)設置東北学院大学の学部の学科名称変更(工学部機械工学科を機械創成工学科に、電気工学科を電気情報工学科に、応用物理学科を物理情報工学科に、土木工学科を環境土木工学科に変更)
- 平成16(2004)年4月 東北学院大学法科大学院法務研究科法実務専攻専門職学位課程設置東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更(臨時的定員の恒常的定員化)
- 平成17(2005)年4月 東北学院大学の学部の学科名称変更(文学部史学科を文学部歴史学科に変更)  
東北学院大学教養学部教養学科を人間科学科、言語文化学科、情報科学科、地域構想学科の4学科に改組
- 平成17(2005)年7月 東北学院大学文学部二部英文学科廃止
- 平成18(2006)年4月 東北学院大学工学部を機械知能工学科、電気情報工学科、電子工学科及び環境建設工学科の4学科に改組
- 平成19(2007)年7月 東北学院大学経済学部二部経済学科廃止
- 平成21(2009)年4月 東北学院大学経済学部を改組し、経済学部経営学科を経営学部経営学科とし、経済学部にはこれまでの経済学科に加え、共生社会経済学科を設置 また、東北学院大学大学院経済学研究科を改組し、経済学研究科経済学専攻と経営学研究科経営学専攻を設置

#### 4. 役員等の一覧（平成 22 年 3 月 31 日現在）

(1) 役員（定員数 理事 20～22 名、監事 3 名）

	氏 名
理 事 長	平河内 健 治
常任理事 (財務担当)	関 根 正 行
常任理事 (人事担当)	関 谷 登
理 事 (学院長・大学長)	星 宮 望
理 事 (総務担当副学長)	柴 田 良 孝
理 事 (学務担当副学長)	齋 藤 誠
理 事 (中学校・高等学校長)	永 井 英 司
理 事 (榴ヶ岡高等学校長)	久 能 隆 博
理 事 (教養学部長)	佐々木 俊 三
理 事 (法人事務局長)	高 橋 清 昭

	氏 名
理 事	一 力 雅 彦
理 事	稲 垣 弘 輔
理 事	勝 股 康 行
理 事	小 林 信 夫
理 事	佐々木 哲 夫
理 事	マーチー,デイビッドN.
理 事	三 島 卓 郎
理 事	宮 城 光 信
理 事	望 月 修
理 事	渡 邊 克 彦

(五十音順)

	氏 名
監 事	後 藤 久 幸
監 事	津 嶋 秋 夫
監 事	欠 員

(五十音順)

(2) 評議員 46 名

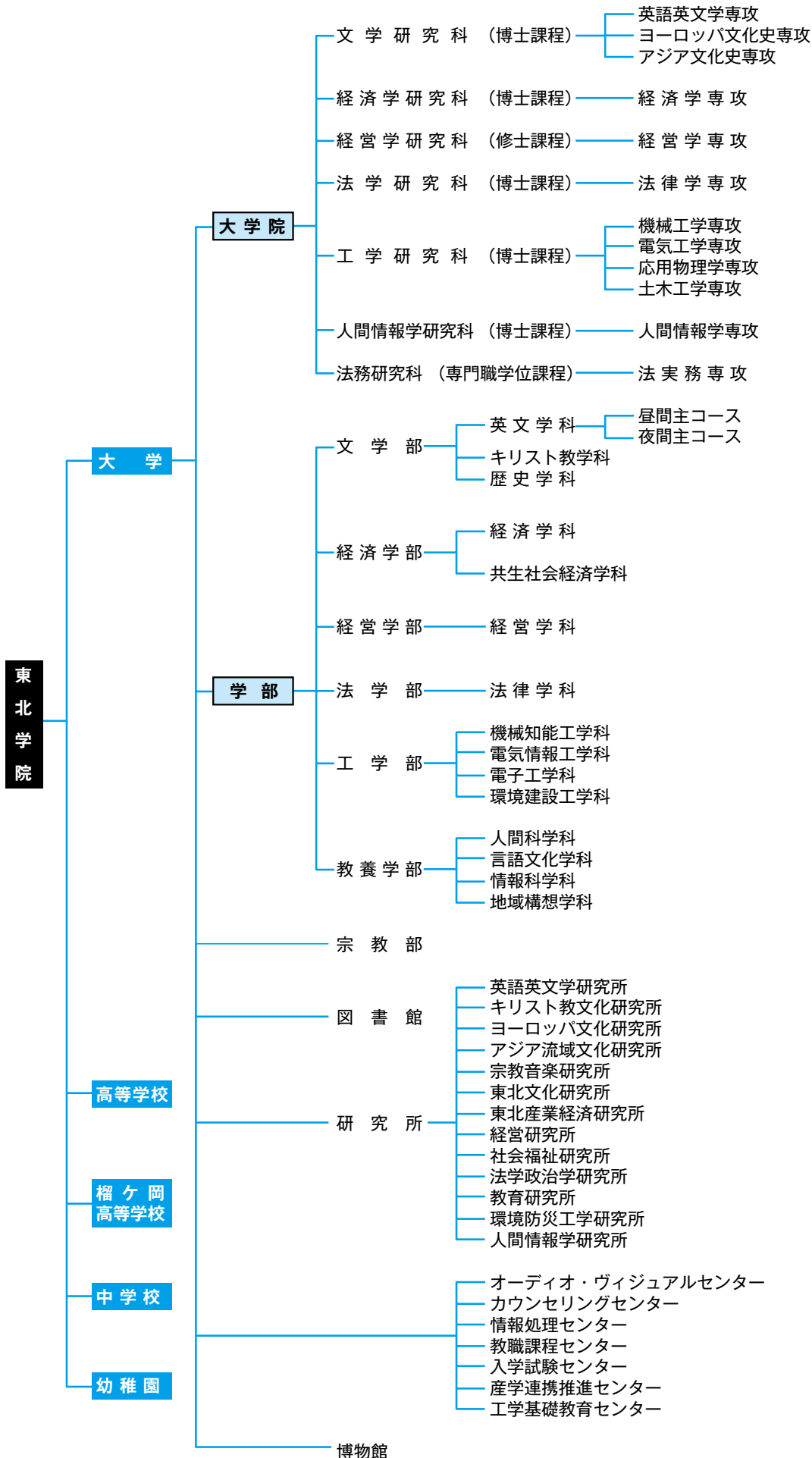
#### 5. 教職員の概要（平成 21 年 5 月 1 日現在）

区 分		法 人 事務局	大 学	中学校・ 高等学校	榴ヶ岡 高等学校	幼稚園	計
教 員	本 務	0	319	85	45	7	456
	兼 務	0	440	45	37	10	532
職 員	本 務	35	206	13	9	0	263
	兼 務	5	112	6	7	3	133

本務（専任）教職員の平均年齢は、教員 49.4 歳 職員 46.1 歳である。

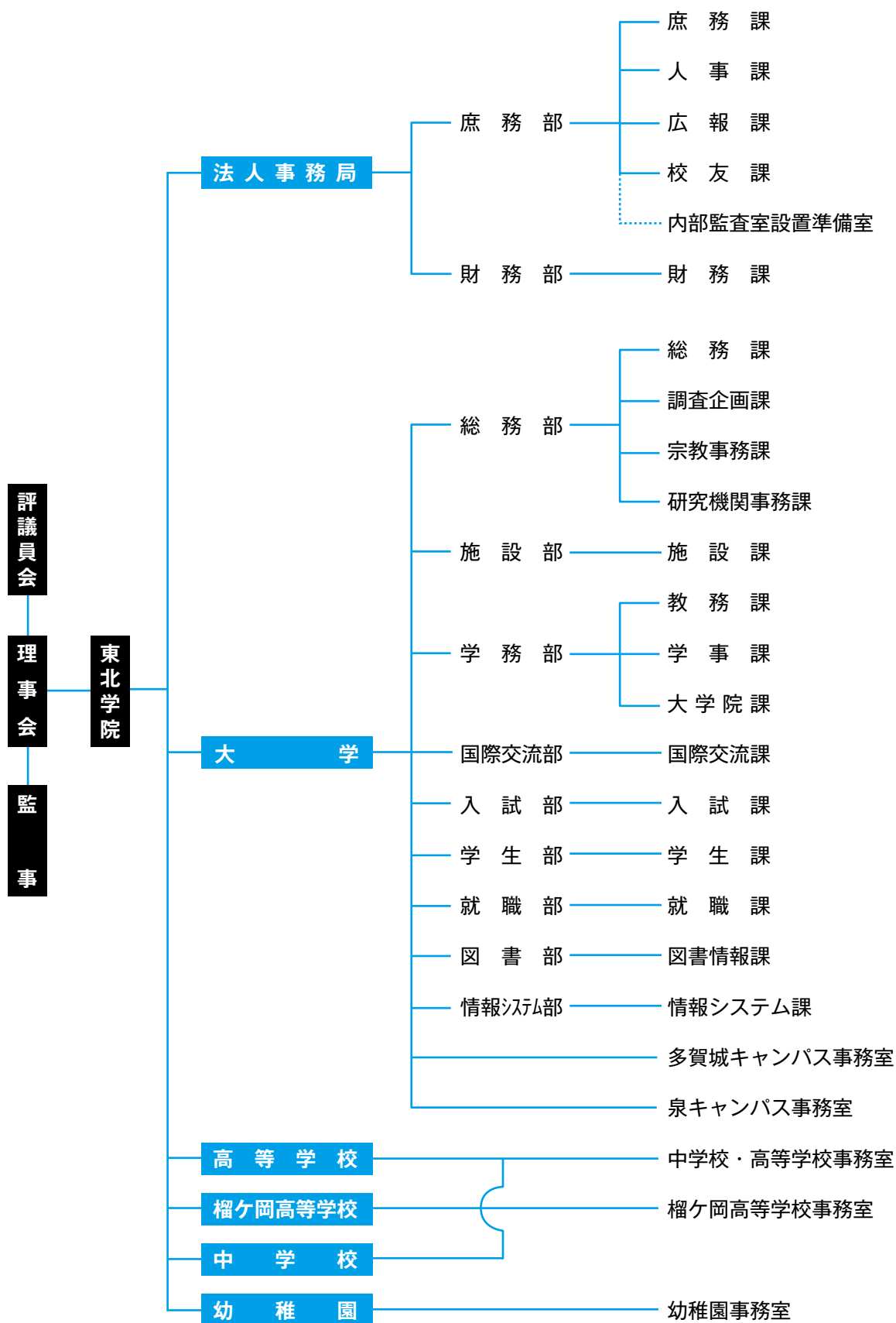
## 6. 設置学校・教育研究組織（平成 22 年 3 月 31 日現在）

（※募集停止している専攻及び学科は除いて記載）





## 7. 事務組織 (平成 22 年 3 月 31 日現在)



## 8. 入学定員、学生・生徒・園児数

		入学定員	編入学定員 (3学年次)	収容定員	学生・生徒・園児数 (H21.5.1 現在)	学生・生徒・園児数 (H22.3.31 現在)	
大 学 院	博士課程前期課程	文学研究科	20		40	32	29
		経済学研究科	8		24	15	15
		経営学研究科(修士課程)	8		8	12	11
		法学研究科	10		20	6	6
		工学研究科	32		64	65	65
		人間情報学研究科	8		16	11	11
		小計	86		172	141	137
	博士課程後期課程	文学研究科	7		21	11	11
		経済学研究科	2		6	2	1
		法学研究科	2		6	1	1
		工学研究科	8		24	4	3
		人間情報学研究科	3		9	3	2
	小計	22		66	21	18	
法務研究科	50		150	80	68		
大学院合計	158		388	242	223		
学 部	文学部	英文学科(昼間主コース)	215	16	892	1,097	1,076
		英文学科(夜間主コース)	35	5	150	140	131
		キリスト教学科	10	2	44	35	33
		史学	※			16	10
		歴史学科	150	6	612	752	745
		小計	410	29	1,698	2,040	1,995
	経済学部	経済学科	400	18	2,164	2,642	2,591
		経営学科	※		964	1,215	1,181
		共生社会経済学科	170	9	170	219	218
		小計	570	27	3,298	4,076	3,990
	経営学部経営学科	310	17	310	399	395	
	法学部法律学科	325	12	1,324	1,655	1,633	
	工 学 部	機械創成工学科	※			17	12
		機械知能工学科	120	6	492	583	579
		電気情報工学科	120	6	492	605	594
		物理情報工学科	※			15	13
		電子工学科	100	5	410	413	403
環境土木工学科		※			31	28	
環境建設工学科		100	5	410	438	429	
小計		440	22	1,804	2,102	2,058	
教 養 学 部	教養学科	※			14	11	
	人間科学科	100	5	410	493	486	
	言語文化学科	100	5	410	512	504	
	情報科学科	100	5	410	521	515	
	地域構想学科	100	5	410	506	498	
小計	400	20	1,640	2,046	2,014		
学部合計	2,455	127	10,074	12,318	12,085		
大学院・大学合計	2,613	127	10,462	12,560	12,308		
高等学校	360		1,080	1,159	1,156		
榴ヶ岡高等学校	270		810	950	934		
高校合計	630		1,890	2,109	2,090		
中学校	180		540	560	557		
幼稚園	200		200	178	181		
総合合計	3,623		13,092	15,407	15,136		

※平成22年3月31日現在の数は、修了者、卒業者及び卒園者数を含む。

※文学部史学科は平成17(2005)年4月学生募集停止、同年4月歴史学科設置

※教養学部教養学科は平成17(2005)年4月学生募集停止、同年4月人間科学科、言語文化学科、情報科学科及び地域構想学科設置

※工学部機械創成工学科、物理情報工学科及び環境土木工学科は平成18(2006)年4月学生募集停止、同年4月機械知能工学科、電子工学科及び環境建設工学科設置

※経済学部経営学科(昼間主・夜間主コース)は平成21(2009)年4月学生募集停止、同年4月経済学部共生社会経済学科及び経営学部経営学科を設置

※入学定員は平成21年度入学定員、収容定員は学部の場合は平成18年度から、大学院の場合は修了年限に応じ、平成19年度又は平成20年度からの合計定員を記載

## 9. 志願者数、合格者数

区分	年度	平成 19 年度			平成 20 年度			平成 21 年度			
		入学定員	志願者	合格者数	入学定員	志願者	合格者数	入学定員	志願者	合格者数	
大 学	前 期 課 程	文学研究科英語英文学専攻	10	2	2	10	5	3	10	2	1
		文学研究科ヨーロッパ文化史専攻	5	3	1	5	8	5	5	3	3
		文学研究科アジア文化史専攻	5	8	7	5	7	7	5	12	8
		経済学研究科経済学専攻	8	6	2	8	9	6	8	2	2
		経済学研究科経営学専攻	8	10	7	平成 21 年度から募集停止					
		経営学研究科経営学専攻	平成 21 年度から設置			8	19	12	8	24	15
		法学研究科法律学専攻	10	4	3	10	4	3	10	9	5
		工学研究科機械工学専攻	8	8	5	8	9	8	8	9	5
		工学研究科電気工学専攻	8	15	11	8	10	8	8	19	16
		工学研究科応用物理学専攻	8	13	11	8	6	5	平成 22 年度から募集停止		
		工学研究科電子工学専攻	平成 22 年度から設置						8	11	8
		工学研究科土木工学専攻	8	10	10	8	7	7	平成 22 年度から名称変更		
		工学研究科環境建設工学専攻	平成 22 年度から名称変更						8	10	7
人間情報学研究科人間情報学専攻	8	6	6	8	6	5	8	10	10		
小 計	86	85	65	86	90	69	86	111	80		
大 学 院	後 期 課 程	文学研究科英語英文学専攻	3	3	3	3	0	0	3	1	1
		文学研究科ヨーロッパ文化史専攻	2	0	0	2	1	1	2	0	0
		文学研究科アジア文化史専攻	2	2	2	2	1	1	2	1	0
		経済学研究科経済学専攻	2	2	2	2	0	0	2	1	1
		法学研究科法律学専攻	2	0	0	2	0	0	2	1	1
		工学研究科機械工学専攻	2	0	0	2	0	0	2	0	0
		工学研究科電気工学専攻	2	1	1	2	1	1	2	0	0
		工学研究科応用物理学専攻	2	0	0	2	1	1	2	0	0
		工学研究科土木工学専攻	2	0	0	2	1	1	平成 22 年度から名称変更		
		工学研究科環境建設工学専攻	平成 22 年度から名称変更						2	0	0
人間情報学研究科人間情報学専攻	3	0	0	3	0	0	3	2	1		
小 計	22	8	8	22	5	5	22	6	4		
法務研究科法実務専攻	50	88	60	50	53	34	30	39	23		
大 学 院 合 計	158	181	133	158	148	108	138	156	107		
学 部	文 学 部	英文学科(昼間主コース)	215	1,109	583	215	1,027	507	215	1,039	497
		英文学科(夜間主コース)	35	55	47	35	65	56	35	95	83
		キリスト教学科	10	16	15	10	26	24	10	19	16
		歴史学科	150	1,002	356	150	932	406	150	945	369
	小 計	410	2,182	1,001	410	2,050	993	410	2,098	965	
	経 済 学 部	経済学科(昼間主コース)	475	2,602	1,280	平成 21 年度から募集停止					
		経済学科(夜間主コース)	95	276	161						
		経営学科(昼間主コース)	275	1,020	505						
		経営学科(夜間主コース)	35	96	54						
		経済学 科	平成 21 年度から設置			400	2,633	934	400	2,337	904
		共生社会経済学科	平成 21 年度から設置			170	487	319	170	1,030	363
	小 計	880	3,994	2,000	570	3,120	1,253	570	3,367	1,267	
	経営学部	経営学 科	平成 21 年度から設置			310	1,679	662	310	1,395	675
	法学部	法 律 学 科	325	2,023	860	325	1,628	823	325	1,694	743
	工 学 部	機 械 知 能 工 学 科	120	532	324	120	486	311	120	565	301
		電 気 情 報 工 学 科	120	520	324	120	446	290	120	564	280
		電 子 工 学 科	100	300	262	100	356	306	100	408	274
		環 境 建 設 工 学 科	100	365	282	100	275	259	100	370	308
		小 計	440	1,717	1,192	440	1,563	1,166	440	1,907	1,163
	教 養 学 部	人 間 科 学 科	100	906	284	100	750	294	100	725	242
言 語 文 化 学 科		100	628	251	100	540	233	100	496	262	
情 報 科 学 科		100	541	265	100	424	277	100	552	251	
地 域 構 想 学 科		100	478	231	100	500	234	100	428	228	
小 計	400	2,553	1,031	400	2,214	1,038	400	2,201	983		
学 部 合 計	2,455	12,469	6,084	2,455	12,254	5,935	2,455	12,662	5,796		
大 学 合 計	2,613	12,650	6,217	2,613	12,402	6,043	2,593	12,818	5,903		
高 等 学 校	360	1,523	1,316	360	1,903	1,565	360	1,909	1,486		
(内、本学中学校からの進学者)		(170)	(170)		(166)	(166)		(173)	(173)		
榴 ヶ 岡 高 等 学 校	270	2,296	2,033	270	2,063	1,936	270	1,960	1,889		
中 学 校	180	230	208	180	203	184	180	199	183		
幼 稚 園	200	75	75	200	68	66	200	76	76		
(本院幼稚園からの進級児)		(83)	(83)		(106)	(106)		(112)	(112)		
総 計	3,623	16,774	9,849	3,623	16,639	9,794	3,603	16,962	9,537		

注 1. 中学校の定員 180 人は、募集定員(学則の入学定員は 300 人)

注 2. 幼稚園の定員 200 人は、収容定員

注 3. 除編入学生

注 4. 年度は入学試験実施年度を示し、数字は翌年度の入学定員及び翌年度に入學することができる合格者数を掲載

注 5. 大学院工学研究科土木工学専攻(前・後期課程)は平成 22 年 4 月 1 日より名称を工学研究科環境建設工学専攻に変更

## 10. 所在地一覧

学校法人東北学院	仙台市青葉区土樋一丁目 3-1
東北学院大学土樋キャンパス	仙台市青葉区土樋一丁目 3-1
東北学院大学多賀城キャンパス	多賀城市中央一丁目 13-1
東北学院大学泉キャンパス	仙台市泉区天神沢二丁目 1-1
東北学院高等学校	仙台市宮城野区小鶴字高野 123-1
東北学院榴ヶ岡高等学校	仙台市泉区天神沢二丁目 2-1
東北学院中学校	仙台市宮城野区小鶴字高野 123-1
東北学院幼稚園	多賀城市高崎三丁目 7-7

